

11月23日に駅南公園で行われた「こばやし冬まつり2019」を皮切りに、市内各地をイルミネーションが彩っています。野尻地区では、国道268号沿いのおよそ2キロにわたり各家庭や商店などが思い思いの電飾を設置。75万球の電球

が訪れた人々の目を楽しませていきます。
【場所・点灯時間・期間】
小林（駅南公園）17時30分～21時、1月10日（金曜）まで
野尻（国道268号沿い野尻町商店街）17時30分～23時、1月11日（土曜）まで

14 小林「こばやし冬まつり2019」の様子
15 小林機関車の人気キャラクター
16 小林 夜空に輝く大きなツリー
17 小林 トンネルは絶好の撮影スポット
18 野尻 国道268号を優しい光で照らす
19 野尻 大塚原公園を彩るイルミネーションは圧巻

	15	14
16	18	17
	19	



7	6	1	
9	8	3	2
11	10	5	4
12			
13			

1 東方輪太鼓踊り 2 小林市地域婦人連絡協議会 3 BFORMATION 4 YOSAKOI 小林翔舞会 5 陽月輝 6 小林プライダルコレクション 7 こども神輿（小林小） 8 DANCE STUDIO WILDCAT'S 9 姉妹都市能登町物産展 10 農畜産まつり 11 稚児行列 12 みやざきえれこっちゃん隊 13 総踊り

Photo Topics
02 小林的冬に輝く
イルミネーション



Photo Topics
01

11月23日開催！パレードや総踊りに約2000人が登場
こばやし秋まつり2019



女性農業者としての功績を表彰

12月2日、酪農家の加藤エミ子さんが、公益社団法人日本農会の農事功労者緑白綬有功章を受賞したことを市長に報告しました。加藤さんは、JAこばやし初の女性理事を務めるなど、女性農業者の経営参画・地位向上に尽力してこられました。加藤さんは「家族が支えてくれたから、外に出て活動してこられた」と話していました。



加藤さんは「女性の参画を促すきっかけになればと思って活動してきた。自分より立派な先輩がいるなかでの受賞で恐縮です」と話しました

名水を未来に残すための植樹

11月9日と11月30日に、うっちゃまソフトテニススポーツ少年団と小林ジュニアアスリートクラブが出の山公園で植樹活動を行いました。児童の環境保全意識の浸透と郷土愛の醸成を目的として、ベニカナメモチ13本を植樹しました。



出の山公園活性化のため試験運用

12月1日、出の山公園内で、ボートやカヤックの着水式が開催されました。ボートなどは、出の山公園の活性化を目的として市観光協会が設置。1月5日までの試験運用で結果を検証し、4月からの本格運用を目指します。



約100人の参加者は熱心に聞き入りメモをとったり、実例の紹介に共感するようにうなずく仕草が多く見られました

「患者に寄り添ったケアを目指し」在宅医療と介護連携を推進

11月29日、西諸地域在宅医療介護連携推進協議会主催の講演会がガーデンベルズ小林で開催されました。天王寺記念クリニック(大阪市)北口宏樹院長から「在宅医療での看取りについて」と題して講演。実際の経験を交えた内容で、看取りのあり方や多くの職種との連携の大切さを訴えていました。

市内で22番目のNPO法人誕生

11月28日、特定非営利活動法人(NPO)の設立認定証書交付式が行われ、「ゆるい」と代表の中島理恵子さんに認定証書が交付されました。同団体は障がい者が自立した生活を営むための総合的な支援などを目的として設立されました。



「視点を変えると世界はおもしろい」

11月30日、児童文学を楽しむ会の主催で児童文学講演会がTENAMUビル交流スペースで開催されました。絵本作家の佐藤まどかさんが、自身の体験や物語が生まれたエピソードなどを講演。朗読とフルートの共演などもありました。



「地域医療ワーカー予備校～西諸から医療人をめざそう」開校

11月20日、TENAMUビル交流スペースで、人材育成講演会「地域医療ワーカー予備校」(主催:地域医療を考える会)が開催されました。学生約40人のほか、多くの住民も参加。講師の市立病院産婦人科吉永浩介医師と宮崎大学医学部吉村学教授が、医療の仕事や地域医療の現状などについて話をしました。



吉村教授は参加した学生に「小林・西諸地域を世界の中心だと思って、楽しくがんばりましょう」と語りかけました

土地測量を遊びながら体感

11月27日、野尻小学校で県土地家屋調査士会が学校出前講座を実施しました。生徒たちは測量器械を使って体育館に星型の図形を描いたり、歩測を体験。参加した6年生31人の生徒たちは、測量の大切さを体験しながら学びました。



ライオンズクラブが美化用品寄贈

11月26日、小林ライオンズクラブが市内各小中学校に環境美化用品を寄贈しました。寄贈は今年で41年目。小堀貴志会長は「子どもは宝。学校をきれいにする事で、物を大切にすることを養って欲しい」とあいさつしました。



宮崎県では唯一の受賞者となった植村さんは「とても光栄な賞でありがたい。みなさんの協力があってこそこの受賞だと思います」と話しました

食生活の改善に尽力 植村さんに厚労大臣賞

11月11日、食生活改善推進員の植村タミエさんが、食生活改善事業功労者に贈られる厚生労働大臣賞を受賞したことを市長に報告しました。植村さんは、市食生活改善推進協議会の会長を務め、ベジ活の普及や減塩の推進、郷土料理の伝承など食生活発展向上のために尽力されました。

カーブミラーと横断旗を寄贈

11月18日、こばやし農業協同組合(坂下栄次組合長)が市にカーブミラー29基と横断旗130本を寄贈しました。高齢者や子どもの交通事故防止に役立ててもらうことが目的。寄贈されたカーブミラーと横断旗は、順次設置・利用されます。



プロと市民吹奏楽団の共演で魅了

11月24日、第8回こばやしわのしづくフェスティバルが文化会館で行われました。小林市出身で海外でも活躍するギタリスト西藤ヒロノブさんとその親交のあるアーティスト、小林市民吹奏楽団の演奏を約600人の観客が鑑賞しました。



小林市で生産された宮崎牛を市内外で PR

◆宮崎牛学校給食プロジェクト

11月25日、和牛農家で組織する各団体が、市内小中学生の学校給食の食材として宮崎牛を提供しました。宮崎牛を食べてもらうことで「日本一の宮崎牛を生産するまち」を深く理解してもらうことが目的。今年で7回目となる取り組みです。翌26日には、和牛農家などの関係者が各学校で「こすも〜井」を一緒に食べながら交流が行われました。



写真は東方小学校の様子。児童からは「どんなエサを食べるの?」「何日間育てて出荷するの?」など、たくさんの質問がありました

◆小林産和牛の無料写真サイトを開設

11月29日(いい肉の日)に、行政史上初のお肉のフリー素材サイト「oniku images」を開設しました。鉄板で肉を焼いている画像や、生肉の画像など、小林産の宮崎牛の画像を気軽に利用してもらうことで畜産のまちをPRすることが目的です。



◆ANA 国際線ファーストクラスの機内食に

12月1日から2月末まで、欧米路線を中心としたANAの国際線ファーストクラス機内食で「小林市産宮崎牛生ハム(プレザオラ)」の提供が始まりました。商品開発を行ったのは倉菌牧場。特産物の価値や地場産業の向上が期待されます。



宝くじ「コミュニティ助成事業」で施設・備品が整備

(一財)自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」の助成金を受けて西小林保育園、坂元広場、坂元親子に備品や施設が整備されました。



坂元広場に健康遊具が設置され、坂元親子公民館にも、放送設備や軽量化した机・椅子が整備されました。地域住民の健康増進と、高齢者に利用しやすい環境が整いました



西小林保育園に幼年消防クラブ用の附録太鼓とワイヤレスアンプが整備されました。今後、地域における防災普及・啓発活動に活用されます

パラリンピック種目で人権を学ぶ

12月3日、西小林小学校で人権教室(主催:法務局都城支局)が行われました。5、6年生53人が東京パラリンピックの正式種目である『ボッチャ』を体験。障がい者スポーツへの理解と、友達との協力の大切さなどについて学びました。



青色回転灯装備車両(青パト)導入

12月6日、(公財)宮崎県防犯協会連合会から小林地区防犯協会へ青パトが贈呈されました。県防犯協会連合会厚山善光専務理事から「地域のすみずみまでパトロールしていただき、防犯に役立って欲しい」とあいさつがありました。



内之倉和彦監督は「最初は何もできない子だったが、本人の努力で着実に力をつけてきた。今後も活躍に期待しています」と太鼓判を押す

重量挙げで日本一達成

12月6日、小林高校の宮越由依(3年)さんが11月に鹿児島県で開催された全日本女子選抜選手権重量挙げ(高校64kg級)で初優勝したことを市長に報告しました。宮崎市の大宮中出身で中学時代は陸上部、高校から重量挙げを始めた宮越さんは「優勝は周りの方に支えていただいたおかげ、大学に進学後も競技は続けていき結果で恩返しをしたい」と話しました。

中学生ハンドボールとバレーボールで県選抜に選出 全国での活躍を誓う

12月11日、JOCジュニアオリンピックカップに県代表として出場する中学生が市長を表彰し、全国大会出場を報告しました。

◆第28回ハンドボール大会

会場:さいたま市ほか

日程:12月22日~26日

【宮崎県男子選抜】氏名(中学校・学年)
村永悠生(小林③)、下村楓斗(小林②)、
渡邊夏輝(小林②)、北ノ菌亮魁(三松③)、
蝦名慶大(三松③)、坂元太一(三松③)、
脇山諒臣(三松③)、大神淳也(三松③)

【宮崎県女子選抜】氏名(中学校・学年)
薦田奈苗(小林③)、生野彩希(小林②)

◆第33回バレーボール大会

会場:大阪市ほか

日程:12月25日~28日

【宮崎県選抜】氏名(中学校・学年)
辻玖努(三松③)



㊦ハンドボール選抜の生徒 ㊦バレーボール選抜の辻さん。
小林中の村永さんは「感謝の気持ちを忘れずにプレーしたい」と誓いました